

四谷大塚（10/18実施）合不合判定テスト 全国最多の20,155名が受験 「2010年中学入試 最新動向レポート」

政権が代わり、財の配分—税金の使い道—が大きく変わろうとしています。「コンクリートから人へ」と言われるように、拡大再生産に繋がらない分野を減らして、子育て支援に回すといえます。しかし、もっと集中的な政策とダイナミックな制度改革を行わなければ、この国の衰退は止まらないでしょう。日本が衰退しているのは、社会を引っ張るリーダーがいないからではないでしょうか。

日本には有名な「米百俵」の故事があり、諸外国では「国家百年の計は教育にあり」として、政権が変わっても次代を担う指導者の育成だけは国家政策の基本に据えています。

そんな教育や子育てに注目集まる社会情勢の中、中学受験の四谷大塚(本社:東京都中野区)は、10月18日(日)、未来のリーダーを目指し国立・私立中学校を志望する小学校6年生を対象に『(第2回)合不合判定テスト』(志望校判定を行う全国レベルの公開テスト)を実施しました。

受験者数は、中学入試の10月実施模擬試験としては全国最多となる20,155名が受験しました。

来春の中学入試においては、新たな変動要因が数多くあります。男子では、東京・神奈川の入試解禁日である2月1日に来春開校の「早稲田大学高等学院中学部」が試験を構え、従来とは違った志望動向が見られます。また、女子では今春のサンデー・ショックからの回帰の年にあたり、2008年入試に近い形で志望者は推移しますが、そこに新たな変動要因も加味しなければなりません。

他にも中央大学附属中学校など新設校の開校、共学化への動き、大学附属校化の動き、公立中高一貫校の新規開校といった、今春とは異なる要因は入試の状況をがらりと変えてしまう可能性があり、最新の志望動向を見極めたうえでの冷静な分析が例年以上に必要となるといえます。

2009年入試の首都圏における実受験者は54,000名、実受験率17.8%と何れも過去最高を記録したと推定しております。これは、先の見えない深刻な経済情勢であるにも関わらず、教育への支出は減らないことを示すだけでなく、むしろ保護者及び受験生は危機が深刻であればあるほど、より未来を見据えた選択をし、改めて「教育」の重要性を強く認識され、長いお子様の人生を考えたとの選択をされ、「より学校を厳選する」＝「お子様にとって最良の教育環境を厳選する」という流れは来年以降も継続していくと分析しております。

< 2010年入試に向かって >

① 志望者を多く集めた中学校は、男子:芝(2回)、女子:浦和明の星女子

今回の合不合判定テストで、志望校として多くの受験生を集めた中学校は前回9月実施の合不合判定テスト同様、男子では芝(2回)が1,403名、女子では浦和明の星女子が1,109名となっています。

志望者数の最上位には入学試験日が集中する2/1~3よりも、1月や2/4以降に実施される試験が毎回入ります。志望者数全体は併願者を含みます。よって比較的試験の集中しない有力校にエントリーが集中する傾向があるためです。別の観点から見ると、2/1や2/2で志望者上位に入ってくる試験は、多くの受験生に支持されているといえます。

実際の入試においても1月入学試験は合格者に対して入学者が少ない傾向(2/1を第一志望とし、合格した場合入学は見送る)がみられ、後半日程の入学試験は出願者数に対して実受験者数が減る傾向(2/1を第一志望とし、合格した場合その後の受験を見送る)が特徴となっています。

<<表1:男子 志望者数ベスト10 (試験回)>>

	学校名	入試 教科	入学 試験日	今回テストでの 志望者数	昨年10月の 志望者数	増減	増減率
1	芝2	4	2月4日	1,403	1,440	▲ 37	97.4%
2	立教新座	4	1月25日	1,210	1,462	▲ 252	82.8%
3	浅野	4	2月3日	1,183	1,203	▲ 20	98.3%
4	市川	4	1月20日	1,149	1,111	38	103.4%
5	渋谷教育幕張	4	1月22日	902	937	▲ 35	96.3%
6	開成	4	2月1日	851	844	7	100.8%
7	東邦大東邦(前)	4	1月21日	754	679	75	111.0%
8	本郷3	4	2月5日	712	774	▲ 62	92.0%
9	早稲田	4	2月1日	673	706	▲ 33	95.3%
10	海城2	4	2月3日	668	712	▲ 44	93.8%

<<表2:女子 志望者ベスト10 (試験回)>>

	学校名	入試 教科	入学 試験日	今回テストでの 志望者数	昨年10月の 志望者数	増減	増減率
1	浦和明の星女子	4	1月14日	1,109	1,171	▲ 62	94.7%
2	頌栄女子学院2	4	2月5日	894	895	▲ 1	99.9%
3	豊島岡女子学園	4	2月2日	746	580	166	128.6%
4	市川	4	1月20日	626	610	16	102.6%
5	女子学院	4	2月1日	617	923	▲ 306	66.8%
6	洗足学園3	4	2月5日	564	486	78	116.0%
7	青山学院	4	2月2日	504	413	91	122.0%
8	淑徳与野	4	1月13日	480	413	67	116.2%
9	桜蔭	4	2月1日	454	602	▲ 148	75.4%
10	鷗友学園女子3	4	2月4日	438	382	56	114.7%

■サンデー・ショックからの回帰状況

2009年入試においては、女子学院、フェリス女学院、立教女学院、東洋英和女学院(A)など女子プロテスト系の学校を中心に試験日変更がありました。来年の2010年は従来日程に戻ります。

試験日程の変更により、併願パターンがサンデー・ショック時の「2/1 桜蔭・2/2 女子学院」より「2/1 桜蔭・2/2 豊島岡女子学園」に戻ったことが上記表2より読み取れます。同じく桜蔭の志望者減少に関しても、同様のことがいえます。

② 第一志望者を多く集めた中学校は、男子:開成、女子:女子学院

第一志望校は受験生にとって「あこがれ」で、学習に取り組むモチベーションを高める存在です。ランキング形式で見たときに、回を重ねても学校が大きく変わらないことも第一志望校の特徴です。

《表 3:男子 第一志望者ベスト 10 (試験回)》

	学校名	入試 教科	入学 試験日	今回テストでの 第一志望者数	昨年10月の 第一志望者数	増減	増減率
1	開成	4	2月1日	534	542	▲ 8	98.5%
2	早稲田	4	2月1日	516	560	▲ 44	92.1%
3	麻布	4	2月1日	433	489	▲ 56	88.5%
4	慶應普通部	4	2月1日	404	490	▲ 86	82.4%
5	駒場東邦	4	2月1日	400	439	▲ 39	91.1%
6	武蔵	4	2月1日	345	354	▲ 9	97.5%
7	芝	4	2月1日	343	390	▲ 47	87.9%
8	浅野	4	2月3日	312	273	39	114.3%
9	筑波大駒場	4	2月3日	281	258	23	108.9%
10	早稲田実業	4	2月1日	268	309	▲ 41	86.7%
11	海城	4	2月1日	249	360	▲ 111	69.2%
12	早大学院	4	2月1日	239	2010年開校		
13	桐朋	4	2月1日	238	308	▲ 70	77.3%

12位の早稲田大学高等学院中学部参入の影響が表3からは読み取れます。早稲田実業が、前回9月実施に続いて減少率(10.2%減から13.3%減)が大きくなっています。また、早稲田においては、前回まで志望率増加から今回は減少となりました。

また、海城(昨年比69.2%)、桐朋(昨年77.3%)と男子難関進学校から「早稲田大学高等学院中学部」への影響は継続して出ています。

《表 4:女子 第一志望者ベスト 10 (試験回)》

	学校名	入試 教科	入学 試験日	今回テストでの 第一志望者数	昨年10月の 第一志望者数	増減	増減率
1	女子学院	4	2月1日	492	513	▲ 21	95.9%
2	桜蔭	4	2月1日	367	439	▲ 72	83.6%
3	立教女学院	4	2月1日	251	241	10	104.1%
4	豊島岡女子学園	4	2月2日	241	281	▲ 40	85.8%
5	雙葉	4	2月1日	232	282	▲ 50	82.3%
6	香蘭女学校	2・4	2月1日	211	191	20	110.5%
7	青山学院	4	2月2日	209	218	▲ 9	95.9%
8	フェリス女学院	4	2月1日	207	205	2	101.0%
9	吉祥女子	4	2月1日	182	174	8	104.6%
10	鷗友学園女子	4	2月1日	161	137	24	117.5%

※香蘭女学校の入試教科は、2教科または4教科選択です。

18	横浜雙葉	4	2月1日	121	76	45	159.2%
----	------	---	------	-----	----	----	--------

18位の横浜雙葉が昨年比159.2%と前回に続いて突出した増加率を示しています。堅調であった今春の大学合格実績も影響しているようです。

③ 2010年注目の新設校の状況

前述の早稲田高等学院中学部は志望者数 295 名(うち第一志望 239 名)を集めています。

同じく、有力大学の附属校として開校予定の中央大学附属は 1 回(2/1)が 240 名(男子 105 名、女子 135 名)、2 回(2/4)が 645 名(男子 364 名、女子 281 名)とこちらも多くの志望者を集めており、注目の高さが伺えます。

また、都立の中高一貫校が 4 校新設されますが、中野地区 29 名(男子 16 名、女子 13 名)、練馬地区 34 名(男子 18 名、女子 16 名)、八王子地区 27 名(男子 11 名、女子 16 名)、三鷹地区 41 名(男子 22 名、女子 19 名)という志望者状況です。

参考データ 1:

2009 年首都圏(小学 6 年生)児童数 303,284 名の 17.8%にあたる 54,000 人が中学受験に臨みました。
中学受験率・中学受験者数いずれも過去最高を更新しました。

全国的には少子化の流れですが、東京を中心に、都心回帰による人口流入が続いており、現 6 年生は 303,493 名(前年比 209 増加・0.1%増加)と微増しています。

参考データ 2:

■三大模試の受験者数推移

2008年	四谷大塚		日能研		首都圏模試		合計	
実施月	受験者数	前年比	受験者数	前年比	受験者数	前年比	受験者数	前年比
4月	14,026	115.4%	12,784	100.9%	11,126	109.0%	37,936	108.3%
7月	15,470	106.3%	14,078	95.3%	14,183	100.2%	43,731	100.6%
9月	20,173	99.7%	14,918	101.2%	16,096	97.0%	51,187	99.3%
10月	20,869	103.2%	15,409	94.1%	16,647	95.0%	52,925	97.8%
11月	21,838	100.7%	15,435	102.5%	17,832	105.3%	55,105	102.7%
12月	21,104	102.5%	15,296	94.7%	17,522	97.0%	53,922	98.4%
合計	113,480	103.7%	87,920	98.0%	93,406	99.9%	294,806	100.7%

2009年	四谷大塚		日能研		首都圏模試		合計	
実施月	受験者数	前年比	受験者数	前年比	受験者数	前年比	受験者数	前年比
4月	13,607	97.0%	11,968	93.6%	10,431	93.8%	36,006	94.9%
7月	15,323	99.0%	13,213	93.9%	13,026	91.8%	41,562	95.0%
9月	20,140	99.8%	14,378	96.4%	15,006	93.2%	49,524	96.8%
10月	20,155	96.6%	12,811	83.1%	15,057	90.4%	48,023	90.7%

10 月実施の模試日程は、10/18 合不合格判定テスト(四谷大塚)、10/4 センター模試(日能研)、10/12 統一模試(首都圏中学模試センター)

今後の四谷大塚公開テスト日程

■「合不合格判定テスト」

11/15 (日)・12/13 (日)

■「学校別判定テスト」

11/1 (日)「開成・麻布・武蔵・桜蔭・雙葉・女子学院」

11/23 (祝月)「筑波大附属駒場・駒場東邦・栄光学園・慶應中等部・フェリス女学院」

12/6 (日)「開成・桜蔭・灘」

10/18 実施合不合判定テスト(第2回)の
80 偏差値及び 50 偏差値は、下記をご参照ください。
偏差値一覧以外にも、合不合判定テスト、保護者説明会(詳細)のほか、
中学受験動向等資料は、ホームページからご覧になれます。

[四谷大塚 公式ホームページ](#) [四谷大塚ドットコム](#)

※下記をクリックするとファイルが開きます

【10/18 実施合不合判定テスト(第2回) 80/50 偏差値一覧】

【男子】[80 偏差値](#)/[50 偏差値](#)

【女子】[80 偏差値](#)/[50 偏差値](#)

■株式会社ナガセについて■

1976 年創立。大学受験向け予備校の東進ハイスクール(首都圏を中心に 87 の直営校)や、全国 47 都道府県に 800 校舎を配す東進衛星予備校(フランチャイズ契約)を展開。質の高い授業と独自の学習システムによって、東大現役合格 445 名(2009 年実績)など高い合格実績を実現し、現在では約 10 万人の現役高校生が通う、日本最大規模の予備校となっています。2006 年 10 月から四谷大塚(中学受験)、2008 年 2 月よりイトマンスイミングスクールをグループ化するほか、大学生・社会人を対象に東進ビジネススクールを開講。

また、2010 年 10 月より「セサミストリート」の教材を使用した幼児・児童向け英語教室「東進こども英語塾」の開設を予定しており、「社会に貢献する人財を育てる」を教育目標とした幼小中高大一貫教育サービスを展開しています。

■四谷大塚について■

1954 年創立。首都圏を中心に、多数の合格者を有名中学に送り出している学習塾。中学受験最強の教科書“予習シリーズ”、全国最大となる 2 万人を超える受験生が競う“合不合判定テスト”、首都圏の直営 19 校舎(2009 年 7 月に大宮校舎・11 月に豊洲校舎が開校)での質の高い“レベル別指導”、そして豊富な“教育情報”を提供しています。

また、首都圏で定評のあった「四谷大塚」のノウハウを活かして、日本全国の有力塾や東進衛星予備校の加盟校との新ネットワーク「四谷大塚NET」のサービスを、2008 年 2 月から開始しています。

<本件に関するマスコミの方のお問い合わせ先>

株式会社ナガセ 広報部:市村、加藤

〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町 1-29-2

電話 0422-44-9001 FAX0422-44-9129

ホームページwww.yotsuyaotsuka.com E-mail pub@toshin.ac.jp